

まほろば【校長室だより】

[文責]

校長 江口 尋信

1年生、がんばっています

1年生が入学して3週目を迎えました。給食の準備や掃除を上手にしたり、落ち着いて学習をしたりするなど、ずいぶんと学校生活にも慣れてきたようです。本校は、本年度、太宰府市教育委員会から保・幼・小接続に関する研究委嘱を受け、保育所・幼稚園との連携・



担任と一緒に給食の準備をする1年生

協力に関する研究を進めていくことになりました。

「保・幼・小」とは、保育所・幼稚園・小学校を指します。何を研究していくのか詳細については、これから太宰府市教育委員会の指導の下、具体化していく予定ですが、保育所・幼稚園と小学校の職員が互いの教育課程や指導方法への理解を深め、自分たちの指導の充実に生かすとともに、子どもの学びがスムーズに連続していくよう工夫をしていくということが主な内容になるのではないかと思います。

保護者のみなさんは「小1プロブレム」という言葉を聞いたことがありますか。「小1プロブレム」とは、30年ほど前に世に出てきた言葉ですが、「第1学年の学級において、入学後の落ち着かない状態がいつまでも解消されず、教師の話を聞かない、指示通りに行動しない、勝手に授業中に教室の中を立ち歩いたり教室から出て行ったりするなど、授業規律が成立しない状態へと拡大し、こうした状態が数か月にわたって継続する状態」を指します。

その原因として、入学に伴う次のような変化（段差）が関係すると言われています。

- ・ 1日の多くの時間が勉強（座学）中心になる。
- ・ 国語や算数等、学習内容が明確な教科学習が行われる。
- ・ 細かく決められた時制、時間割に沿ったスケジュールで過ごすことになる。
- ・ 担任1人に対しての児童数が増える。（小学校では法律で35人学級となっています）
- ・ 集団行動が増える。

入学時の変化（段差）をなるべく小さくする、あるいは、少しでも小さく感じるようにすることが「小1プロブレム」を解消することにつながります。保・幼・小接続に関する研究を進めていき、「小1プロブレム」という状態をつくらないようにしていきたいと思います。

学童保育所とプールの解体工事が終わったので、送迎時の駐車場として運動場を開放してほしいというご要望をいただきました。実は、本校の運動場の状態は大変悪く（でこぼこがひどい、雨の後の排水が悪い等）、本年度中に整備工事を行うこととなりました。工事の開始時期は検討中ですが、それまで、運動場がこれ以上悪くならないよう、大きな行事を除き、運動場への自動車の乗り入れをなるべく少なくする必要があります。子どもたちの遊びや学習活動のために、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。なお、何か事情がある場合には、遠慮なくお知らせください。